資料3ー１

万博の森の育成について　《令和５年度第1回緑整備部会（11/14開催）　委員コメント》

**〇　モデルエリアの現状と調査結果について　（報告）**

・UAVの画像も用い、詳細な樹冠投影図が作成できている。データを年々積み重ねることで、樹林の再生過程を見られるので、今後も継続を。　*[山田委員]*

**〇　R5年度モデルエリアの候補地について　（候補地BとCで実施決定）**

・段階的な施業をするとなった場合、施業内容はどのようなものをイメージしているか。*[山田委員]*

*→落葉樹を中心に周囲のアラカシを伐採し、小さなギャップを作るという案を頂いている。また、林業では３割間伐という手法があるため、アラカシを３割程度伐採することも考えている**[事務局]*

・候補地BとCが有力候補ということだが、落葉樹を残す場合、モデルエリアの中心付近に生育する個体が対象になると思う。落葉樹の本数が少ないため、枯れかけの木を残すことにならないよう、樹形や樹勢が良い落葉樹があるか現地で確認することが望ましい。先枯れが発生している樹木等を選定しても枝が広がる見込みは薄いと考える。*[今西委員] 　　 　→施業と切り戻し等の剪定を同時に進める　[事務局]*

**・第１・２期のモデルエリアで強めの間伐を実施したが、その結果、他の樹木が乾燥の影響を受ける等といった問題は見られなかったため、第３期モデルエリアでも同程度の間伐を実施するという認識でよいか。　*[檀浦委員]*

*→これまでのモデルエリアでは、間伐ではなく常緑樹を皆伐したが、特にモデルエリア3-13では乾燥が進行し、残された落葉樹の枝が広がっていないという結果が出ている。常緑樹全てを伐採したことにより問題が生じていると考えており、次回のモデルエリアでは常緑樹の間伐を考えている。**[事務局]*

・モデルエリア3-13及び3-30は、樹冠が広がっていない。これまでのモデルエリアについて、次年度は様子見の予定か。あるいは、切り戻し、土壌改良等の対策を実施す

る予定か。*[今西委員]* 　　　　→土壌改良までは検討していないが、切り戻しを行うことは検討中*[事務局]*

・B・Cが候補地ということだが、ここは有効土層が薄い場所である。伐採後に細い木が残された場合、倒木のおそれがあると考える。園路沿いにおいて倒木が懸念される樹

木はあらかじめ伐採する、あるいは切り下げ等の剪定を行うことで、通行の支障にならないようにする対応が必要と考える。B周辺は人通りが少ないが、特に、C付近の園

路はコスモスフェア等の際に人が多く通る。Cは特に落葉樹が少なく、この周辺にはコケ類が生育していることから、地下で帯水していて水はけが悪く根の張りが浅い場所で

あると予想されるため、剪定を行うか、切り戻して樹高を低くしておくなど、検討していただきたい。*[大藪委員]*

**〇　林班の再検討について　　（事務局案了承）**

**〇　ナンキンハゼの代替え植栽について　（事務局案の4種を混植することで了承）**

　・以前、ナンキンハゼは秋の早い時期に赤く紅葉するため、イチョウやヤナギ、背後のプラタナスの色合いから、鑑賞的な要素も考慮が必要ではないかと申し上げた。しかし、現地確認の結果、ナンキンハゼは周囲の樹木に埋もれていることから、観賞用というよりは鳥類の餌になるかどうかを重視して代替木を選定していると連絡を頂いている。そのような考え方の場合は、複数の樹種を組み合わせて植栽するのがよいと考える。　*[井原委員]*

*・この場所は水路沿いであり、地下水位が高い可能性があるため、ゴンズイのような乾燥を好む種は枯れてしまう可能性がある。全種植栽して、うまく生育しない種は別の種に変更するなど、柔軟に対応していただきたい。また、こちらも有効土層が浅いため、ナンキンハゼを抜くのであれば、植栽桝の設置や溜まった水の排水、通気性向上のための施工等をご検討いただきたい。　[大藪委員]*

**○**　その他

**・**観光客が2025万博に来た時に、こちらの万博記念公園にも来てもらえるような工夫が必要である。昔の万博の跡地で、最先端の森づくりをしているというPR資料や案内板などがあるとよいのではないか。 *[今西委員]*